

(特非) 環境文明 21

環境教育等促進法に基づく環境教育活動の改善と政策提言を支援する活動

イベントの延べ参加者数	500人
イベント参加者の満足度	100%
活動の全体目標に対する達成度	100%



四日市市の環境教育のワークショップの様子

◆成果と工夫したポイント

●成果

四日市市で、環境教育カレンダー（小学校版、中学校版）を作成し市内全校に配布した。また、環境基本計画への提案や市民の「環境力」向上のための提案（エコパートナー制度の実施・運営方策の提案）を作成した。

●工夫

教育委員会や学校と協働したことで、環境教育が他の教科とも関連付けられ総合的に推進できるようにした。

課題

四日市市の環境教育について、持続可能な社会に向けた視点の導入や NPO と学校との協働が遅れており、政策提言の取組みも遅れている実態があった。

目標

環境教育の改善と活性化を図るため、持続性の視点を入れた教育教材を整備して教員の意識向上を図り、また四日市市環境基本計画への提案、進捗状況の監視等を通じて、市民の政策提言力と環境力の向上を目指す。

活動内容

- NPO、行政、教職員等による合同研修会（1回）やワークショップ（6回）の開催により、持続可能な社会に向けた環境教育を体系的に進めていく重要性への理解を深めた。
 - ①小学校版・中学校版体系図を作成した。
 - ②体系図に基づくモデル授業を市内中学校で行った。
- 協働や市民による政策提言の大切さを学び、その能力の向上を図った。
 - ①環境教育行動計画への提案と進捗状況の監視をした。
 - ②市民の環境力向上のために提案した。



環境教育の体系的なカリキュラム案を作成

達成できなかったこと

地方で政策提言できる NPO や人材の育成が十分にはできなかった。その原因としては、行政との関係や協働の意味合いが地域によって異なることも考えられる。

今後の展望

四日市市では組織も立ち上がり、リーダー的人材も出てきたことから、継続して発展できるようフォローしたい。